

## 月周回衛星「かぐや (SELENE)」の地上システムとデータ公開について

## The Overview of KAGUYA Ground System and Data Delivery Plan

# 祖父江 真一 [1]; 奥村 隼人 [2]; 木村 淳 [3]; 山本 彩 [4]; 佐々木 進 [5]

# Shinichi Sobue[1]; Hayato Okumura[2]; Jun Kimura[3]; Aya Yamamoto[4]; Susumu Sasaki[5]

[1] 宇宙機構; [2] JAXA/ISAS/SELENE; [3] 北大・宇宙理学; [4] レステック; [5] 宇宙研

[1] JAXA; [2] JAXA/ISAS/SELENE; [3] Dept. CosmoSci., Hokkaido Univ.; [4] RESTEC; [5] ISAS/JAXA

<http://www.kaguya.jaxa.jp>

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) においては、月周回衛星「かぐや」(SELENE: SELEnological and ENgineering Explorer) を 2007 年 9 月 14 日に打ち上げ、同年 12 月 21 日から 2008 年 10 月 31 日まで定常運用、その後、後期運用を 2009 年初夏ごろまでの予定で実施している。このかぐやから得られる観測データから得られた処理済データ (L2 プロダクト) を、定常運用終了の 1 年後である 2009 年 11 月からの公開を目指した地上システムの整備・運用を進めてきた。これとあわせて、観測データを広報・普及啓発目的で可視化したもの、ならびに映像化したものを公開するための OpenGIS の Web Map Server 技術を使った地理情報システムおよび映像共有システムを用いた公開を実施してきた。

本稿では、L2 DB・公関係システム、可視化システムを中心にした地上システムの概要、運用状況を説明するとともに、当該システムを用いたデータの利用方法およびデータの公開計画について報告するものである。